

断熱材の充填密度を測定する

断熱材の充填密度を測定するためには専用の密度測定セット(オプション)が必要です。

測定筒のキャップをはずし、筒の反対側にはめます。キャップをはずした方の先端は鋭利な状態ですので、取り扱いには充分ご注意ください。この状態で秤に載せ、秤の目盛をゼロに合わせて下さい。



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4

OSB 板等で閉じられている壁の場合は、密度測定をするための任意の箇所を選び円形カッターで穴を開けます。測定筒を差し込み、回しながら反対(裏)側の壁に当たるまで入れます。反対側の壁に測定筒の先端が当たったかは、壁の厚みを目安にして音や感触で判断して下さい。それ以上入れることができない位置まで入ったところで測定筒を静かに引き出し、その状態で秤に載せ重さを量ります。(写真の壁は深さ 23cm です。)



写真 5



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9

測定筒を引き抜く際にこぼれた断熱材繊維があれば拾い、測定対象に含めるため測定筒に戻して下さい。測定筒を抜いた所がきれいな円筒形の空洞になっていることを確認してから重さを測ります。

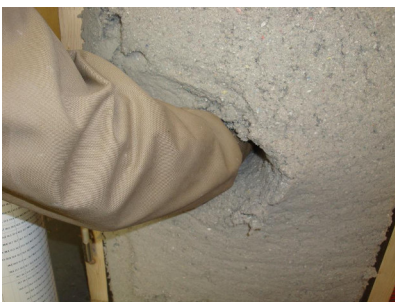


写真 10



写真 11



写真 12

断熱材が入った状態の測定筒を秤に載せ数値を確認します。必要であれば書き留めて下さい。壁の深さと測定筒の重量を元に、測定筒に貼ってある密度表で数値を確認します。



写真 13



写真 14

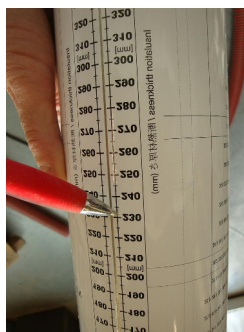


写真 15



写真 16

壁の吹込口をコルク板で閉じる

壁の吹込口や密度測定用に開けた穴を閉じるには、直径の合う円形のコルク板があると便利です。コルク板を吹込口に合わせ、ハンマーや木片などで軽くたたくと素早く確実に穴を塞ぐことができます。



写真 17